令和８年１０月２０日

安全運転（１２号）

新潟地方交通共済協同組合
（発 行） 事故防止対策室

〔運行管理者・運転者の皆様へ〕

○ 令和8年度上半期を振り返って

上半期の事故報告件数は２２７件　前年同期比▲２１件
内訳として、**追突事故は１７件**で、そのうちケガがあるとの報告が１０件　**約６割がケガ**
上半期における対人事故での高額事案は発生していないが、その恐れは十分にあります。

○ 追突事故原因を掘り下げて下半期の追突事故を無くしましょう！！

【追突事故の発生場所】
交差点　9件（ケガ6件）　単路　6件（ケガ4件）　構内　2件

【追突事故の主な状況】
交差点停止後に追突　6件（ケガ3件）
速度は出ていないものの、ケガを伴う事故になり得る
・ 先頭車の発進につられて発進したが、前車発進せず追突
・ 停止時にブレーキが緩み、前車に追突

漫然運転により交差点停止中車両に追突　2件（ケガ2件）
速度が出たままの追突は、大ケガの元
・ 漫然と先を見て手前の信号に気付かず追突

車間距離不足により、前車の動向に対応できず追突　5件（ケガ4件）
・ バイパス走行中、前車の制動に気付くのが遅れ追突
・ 数台前の車が店舗に入るため停止し、前車も停止したが、ブレーキが間に合わず追突
・ 脇道を右折しようと停止した前車に気付くのが遅れて追突

【追突事故防止への対応】
前方注視 ･･･ 運転中の緊張感の保持（呼称運転を推奨）
車間距離の保持 ･･･ 車間時間を4秒確保（これからの時期は特に）
停止時のパーキングブレーキの習慣化 ･･･ 坂道発進補助装置等の補助装置は確実に作動させる！（作動させたつもりにならない）

○ 同じドライバーが複数回事故を起こしていませんか

複数回事故を起こすドライバーには、健康状態に起因する要因が隠れている場合もあります。
・ 本人は見ているつもりでも、視野障害により見えていないものにぶつかる事故
・ 睡眠時無呼吸症候群（SAS）による瞬間的な居眠りで発見が遅れ、ブレーキが間に合わない事故など、本当は健康状態に起因にするものが、不注意事故として処理されていませんか？

○ 「QRコードで安全運行」動画を配信中です

配信開始から2年目を迎えました。引き続きより多くの方にご視聴いただき、ゆとりある運転や事故防止活動にご活用ください。



※上記QRコードを読み込むと、サンプル動画を視聴できます。
ステッカー及び動画の複製は、お断りいたします。

※当組合では、組合員様の事業所へ直接訪問して行う出張講習会を実施しております。
費用はすべて無料です。
ぜひお気軽にお声掛けください。

【問い合わせ先】
新潟地方交通共済協同組合
担当者：甲斐・石井
電　話：025-284-9555

～ 忘れるな　基本作業と　危険予知 ～

（令和７年度　当組合佳作作品）山形運送株式会社　布施　達也　様

◎事故防止重点「衝突事故の根絶」「よく視る！安全確認の励行」「追突・交差点事故の根絶」「構内・後退事故の根絶」